

令和6年度

「次世代の校務デジタル化推進実証事業」 ～次世代の校務のデジタル化モデル実証研究～



成果報告会

令和7年 3月14日 (金)
10:00-12:00

※ 10:00より開始予定です。開始までお待ちください。

※ 不都合等ございましたら、「Q&A」にて「すべてのパネリストあて」へご連絡ください。

はじめに(事前のご案内)

- 1 音声はミュート、カメラはオフの状態でご視聴ください。
- 2 ご質問はZoom画面の下にある「Q&A」にてお送りください。



※ お時間の都合上、いただいたご質問全てに回答できない可能性があります。
予めご了承ください。

- 3 録画・録音はご遠慮ください。
後日、成果報告会の様子と説明資料を文科省HPにて掲載する予定です。
- 4 本ウェビナーはZoom画面の下にある 「字幕を表示」より、
字幕機能をご利用いただけます。



※ 表示されない場合は、Zoomを最新の状態へ更新いただき、再度セミナーへ接続ください。

プログラム

10:00-10:10 はじめに / 開会挨拶

文部科学省 初等中等教育局
学校デジタル化プロジェクトチーム

10:10-10:20 事業説明

株式会社NTT ExCパートナー

10:20-11:00 事業の取組成果

新潟県教育委員会 / 秋田県教育委員会

11:00-11:30 先進自治体の取組事例

奈良県奈良市教育委員会 / 兵庫県宝塚市教育委員会

11:30-11:40 質疑応答

11:40-11:55 事業推進委員の総評

11:55-12:00 委員長総括 / 閉会



2025年3月14日

令和6年度

「次世代の校務デジタル化推進実証事業」
～次世代の校務のデジタル化モデル実証研究～
成果報告会

次世代校務DXについて

初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長

寺島 史朗



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

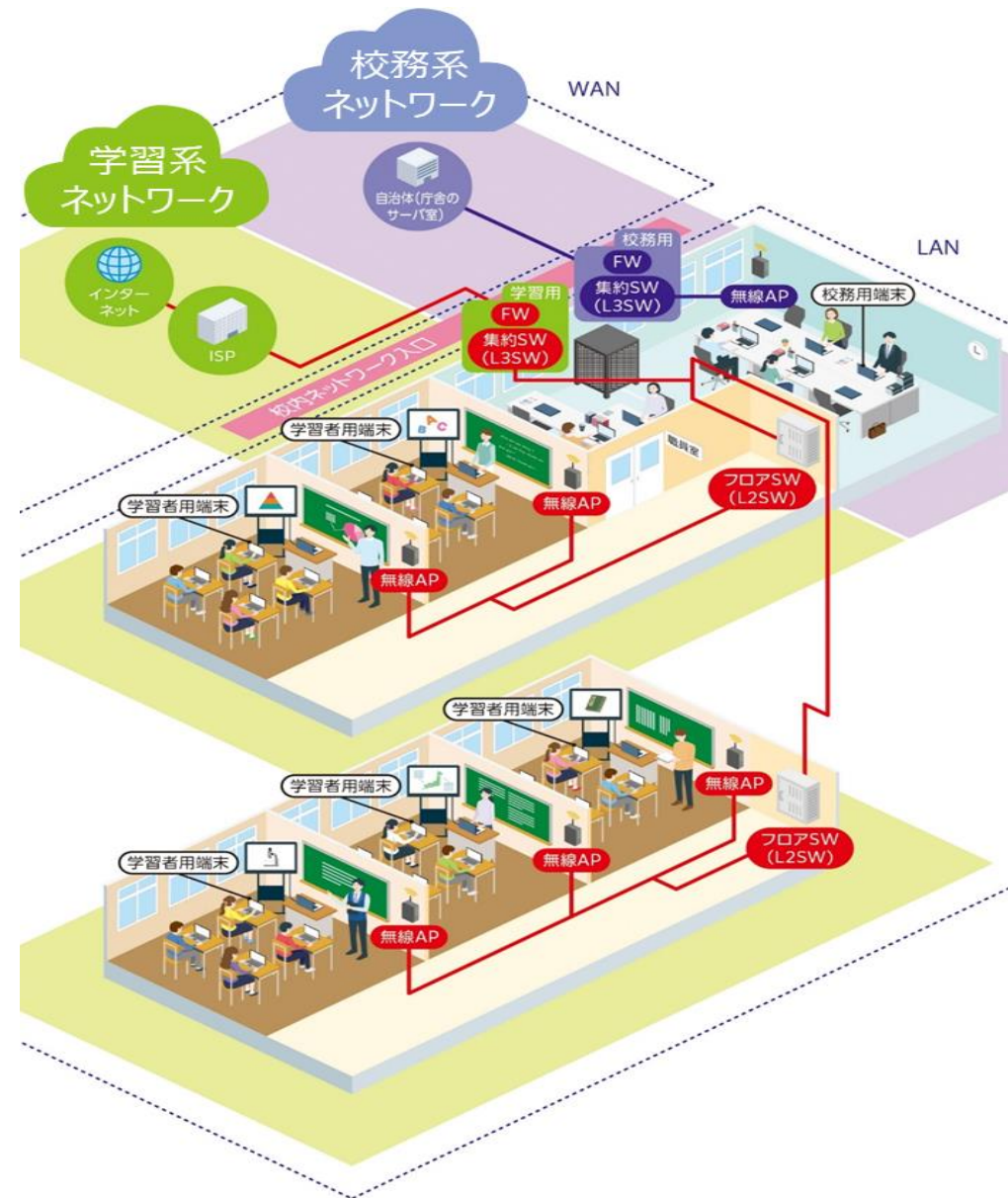
校務支援システムの現状と課題

現状

- 統合型校務支援システムの整備率は91.4%であり、学校における成績処理や帳票作成等の校務において利活用が進む

課題

- 市町村教育委員会ごとにシステムが大きく異なり、教師の人事異動時の負担大
- 教育委員会がそれぞれに校務支援システムのカスタマイズを行うため、必要以上にカスタマイズ費用がかかっている
- 教育委員会や学校に物理的に設置されたサーバーを使用している（クラウド化されていない）ため、校務処理の多くが職員室に限定
- 校務系ネットワークと学習系ネットワークが分離されているために学習系情報との連携が困難
- 校務支援システムが災害対策が不十分な自前サーバで稼働しており、大規模災害により業務の継続性が損なわれる危険性が高い



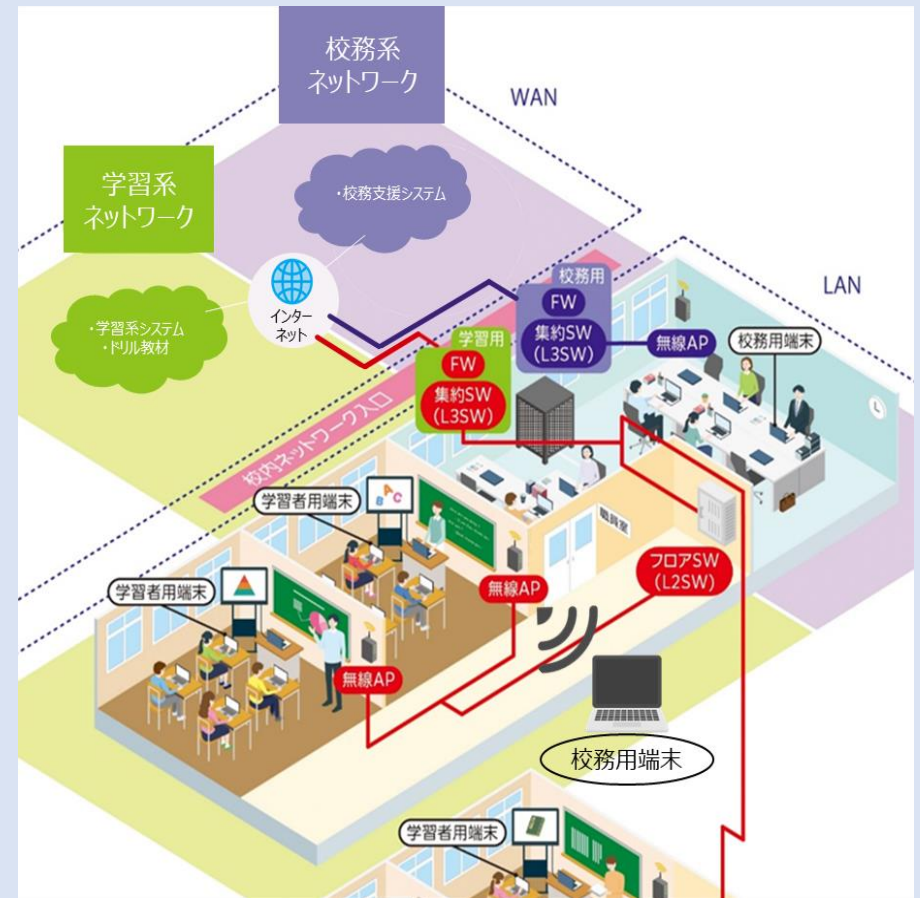
次世代校務DXについて

次世代校務DXとは

- 校務系・学習系ネットワークの統合
- 校務支援システムのクラウド化
- データ連携基盤（ダッシュボード）の創出 等

次世代校務DXの効果

- 教職員等の更なる負担軽減、コミュニケーションの迅速化・活性化
- ロケーションフリーな働き方
- **校務系と学習系のシステム間の容易なデータ連携**
- **ダッシュボード機能を用いたデータの可視化**による学校経営等の高度化
- システムのクラウド化による**大規模災害等発生時の業務継続性確保**



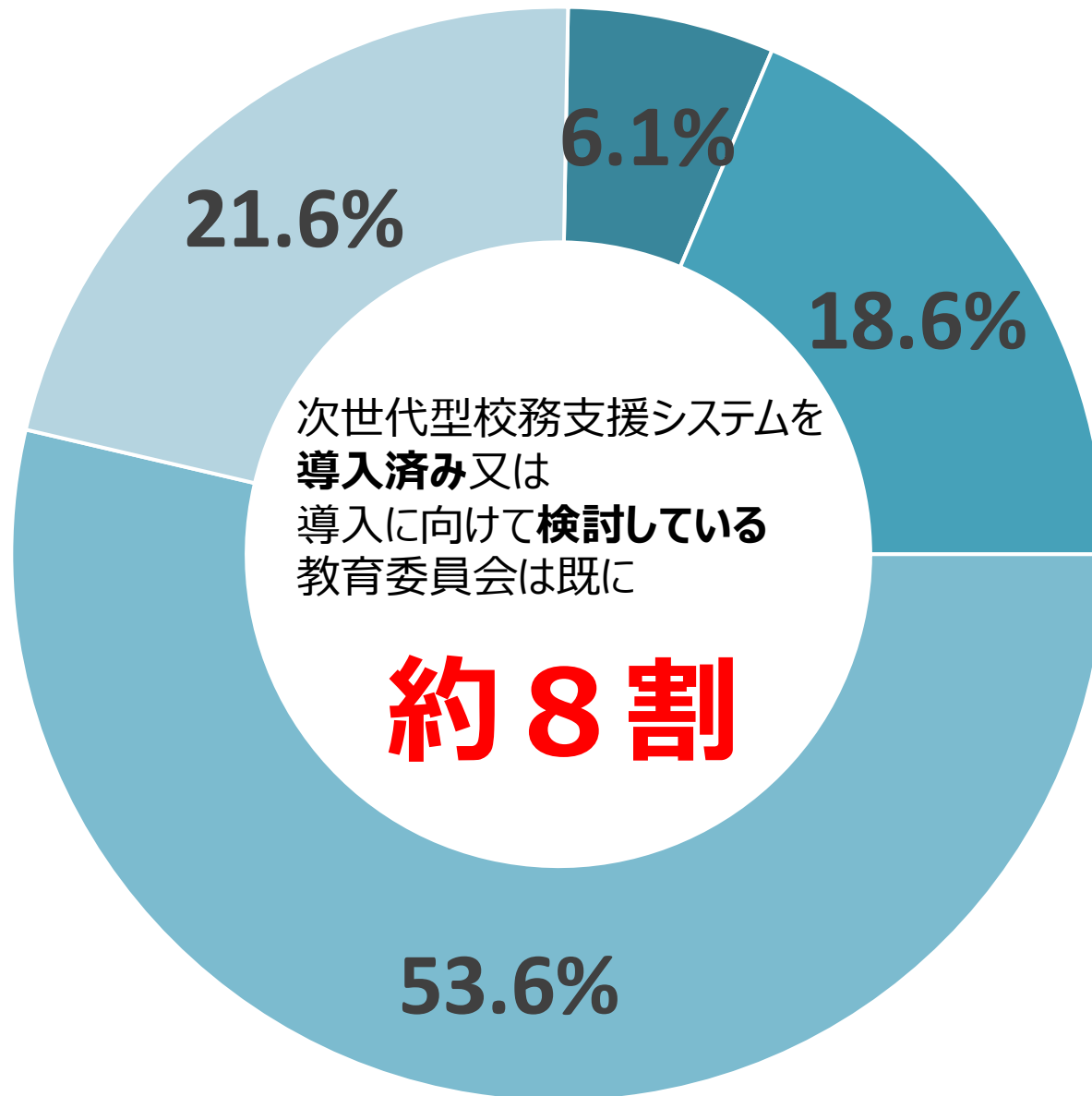
次世代の校務DX環境のイメージ

次世代校務DXの推進に向けた課題

- 標準的なGIGAスクール環境（児童生徒1人1台端末、教師1人1台端末、クラウド環境）の徹底的な活用。
- 次世代型校務支援システムを導入済みの公立小中学校設置者の割合：6.1%
- 校務支援システムのクラウド化や校務系・学習系ネットワークの統合コスト等の初期費用が負担。
- 校務DXを含めた教育DXの推進にあたっては学校のネットワーク環境の充実が前提。

（出典）文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト〔速報値〕」（令和6年12月）

全国における次世代校務DX環境の整備状況



■ 導入済み ■ 具体的な導入時期を設定している ■ 導入時期は未定だが検討している ■ 検討していない

【出典】文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト[速報値]」(令和6年12月)

GIGAスクール構想支援体制整備事業

令和7年度予算額（案）

5 億円
（新規）



現状・課題

- 1人1台端末の日常的な利活用や、デジタル教科書、CBTの導入が進むなかで、文部科学省は令和6年4月に同時・多数・高頻度での端末活用を想定した「当面の推奨帯域」を設定。
- 一方、この推奨帯域を満たしていない学校は8割となっている。今後、ネットワークアセスメントの徹底やその結果を受けた通信ネットワークの着実な改善を図る必要。
- また、学校における働き方改革や学習系・校務系データの連携、大規模災害等発生時のレジリエンス確保を実現する、クラウド環境・アクセス制御型のセキュリティ対策を前提とした次世代校務DX環境の整備、教育データ利活用の基盤となる情報セキュリティ対策、教職員のICTリテラシーの向上など、GIGAスクール構想第2期を強力に推進するための基盤整備が急務。

事業内容

（1）学校の通信ネットワーク速度の改善

- ① ネットワークアセスメントの実施、② アセスメントの結果を踏まえたネットワーク環境の改善に係る初期費用（機器の入れ替えや設定変更等）を支援。これにより、学校の通信ネットワークの改善を図る。

※ ネットワークアセスメント・・・学校内外のネットワーク構成要素を評価し、課題の把握・原因箇所の特定を行うこと。
※ ②支援対象はネットワークアセスメント実施済学校に限る。

（2）次世代校務DX環境の全国的な整備

- ① 都道府県域での共同調達を前提とした次世代校務DX環境の整備支援
都道府県域での共同調達・帳票統一を前提に、自治体の次世代校務DX環境整備に係る初期費用（校務系・学習系のネットワークの統合に係る費用や、校務支援システムのクラウド化に係る費用等）を支援。
- ② 都道府県域での次世代校務DX環境整備に向けた準備支援
都道府県域での共同調達を前提に次世代校務DX環境整備を行う際に必要となる帳票統一・ネットワーク環境等に関する都道府県域内の実態調査、ロードマップの策定、RFP作成等の各種プロセスを支援。

（3）学校DXのための基盤構築

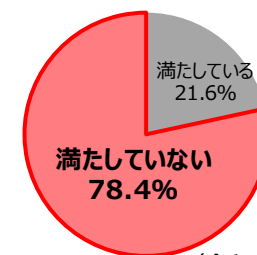
教育情報セキュリティポリシーの策定/改定支援、セキュリティリスクアセスメントや端末利活用等の専門家による支援、ネットワークの共同調達の支援等、学校DXに向けた技術的なコンサルタントに要する経費を支援。

令和6年度補正予算額

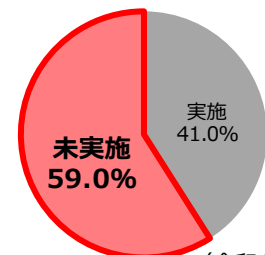
60 億円

当面の推奨帯域を満たしていない学校の割合

ネットワークアセスメント実施状況



（令和5年度）



（令和5年度）

＜ネットワーク・アセスメントのイメージ＞



＜次世代校務DXとは＞

令和5年3月に文部科学省がとりまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」に方向性を示している、ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方。

補助率等

事業主体：都道府県、市町村

補助割合等：3分の1

予算単価（事業費ベース）：

- (1)：①：1,000千円/校 ②：2,400千円/校
- (2)：①：6,800千円/校 ②：50,000千円/都道府県
- (3)：200千円/校

GIGAスクール構想第2期の基盤整備を強力に推進

（担当：初等中等教育局学校情報基盤・教材課）

(2) 次世代校務DX環境の全国的な整備

補助対象となる取組等

令和7年度追加実施希望分について、令和7年度予算案の議決等がなされた後、本年4月上旬頃に改めて整理し周知予定

①：都道府県域での共同調達を前提とした次世代校務DX環境の整備支援

＜補助対象となる取組＞

- ・次世代校務DX環境の整備（強固なアクセス制御に基づくセキュリティ対策、ネットワーク統合、クラウド対応の校務支援システム整備）に関して、事業者へ委託して実施する環境構築や既存環境の設定変更に必要な初期費用

＜補助基準額＞

- ・実施主体当たり 6,800千円×（実施主体が実施する取組の対象に含まれる学校数）

②：都道府県域での次世代校務DX環境整備に向けた準備支援

＜補助対象となる取組＞

- ・次世代校務DX環境の整備の実施を都道府県内で行うに当たって必要な準備（帳票統一・ネットワーク環境等に関する都道府県域内の実態調査、ロードマップの策定、RFP作成等）に必要な費用

＜補助基準額＞

- ・都道府県当たり 50,000千円

今すぐできる校務DX（チェックリスト）

- 文部科学省は令和5年度に、校務DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を整理した「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」を作成。
- これに基づく自己点検を公立小中学校及びその設置者に依頼し、その結果を令和6年3月に公表。
- 前回の自己点検から約1年が経過したことから、本チェックリストに基づく取組状況のフォローアップを実施。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

会見・報道・お知らせ

政策・審議会

トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > GIGAスクール構想の実現について > 学校におけるICT環境の整備・運用につ

GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト

学校及び教育委員会が校務DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を整理した「GIGA
検の結果を取りまとめるとともに、一部項目の全国の実施状況を可視化するダッシュボードを公

【令和6年度】

- [GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校向け\)\(令和6年度\)\(PDF:461KB\)](#)
- [GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校設置者向け\)\(令和6年度\)\(PDF:428KB\)](#)

【広報資料版】

- [GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校向け\)\(PDF:1.4MB\)](#)
- [GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校設置者向け\)\(PDF:1.3MB\)](#)

「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検結果(速報値)

- [「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果\(速報値\)について\(通知\)\(令和6年12月26日\)\(PDF:254KB\)](#)
- [【別紙1】GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト～学校・学校設置者の自己点検結果～【速報値】\(PDF:1.1MB\)](#)
- [【別紙2】「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校向け\)」自治体別達成状況【速報値】\(PDF:444KB\)](#)
- [【別紙3】「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校設置者向け\)」自治体別達成状況【速報値】\(PDF:426KB\)](#)
- [【別紙4】「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校向け\)」自治体別回答【速報値】\(PDF:2.1MB\)](#)
- [【別紙5】「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト\(学校設置者向け\)」自治体別回答【速報値】\(PDF:1.1MB\)](#)
- [【別紙6】校務DXを促進するための取組に関する参考資料\(PDF:4.2MB\)](#)
- [【別紙6別冊】校務DXを促進するための取組に関する参考資料\(別冊\)校務DXチェックリストの項目に関連する令和5年度のリーディングDXスクールの実践\(PDF:6.2MB\)](#)

別紙1

GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト

～学校・学校設置者の自己点検結果～

〔速報値〕

令和6年12月26日

文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム



文部科学省

己点

校務DXの取組達成率

学校

令和
5年度

35.6%

令和
6年度

+4.7P

40.3%



※各年度の満点（令和5年度1020点、令和6年度990点）をそれぞれ100%に換算

学校 設置者

令和
5年度

43.0%

令和
6年度

+5.1P

48.1%



※各年度の満点（令和5年度540点、令和6年度600点）をそれぞれ100%に換算

取り組んでいる学校の割合は比較的低いものの 教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かった項目

- これらの項目について未実施の学校においては、取り組むことがより効果的であると考えられるため、ぜひ取り組んでみてください。
- 各項目に実際に取り組んでいる学校等の事例もまとめているので、参考にしてください。

一定以上取り組んでいる
と回答した学校の割合

① 保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。



とてもそう思う

48.2%

そう思う

50.0%

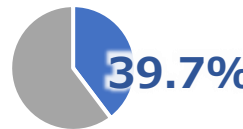
② 保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。



46.0%

51.3%

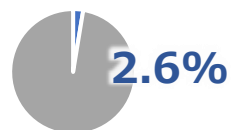
③ 教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。



42.8%

55.8%

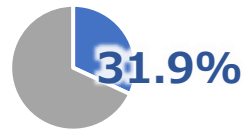
④ 「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか。



41.0%

56.2%

⑤ 学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。



40.7%

55.7%

校務DXを促進するための取組に関する参考資料

令和6年12月26日

文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム



文部科学省

※各関連資料にはリンク（黄色でマーキング）から遷移できるようになっています

QRコードをクリック！

目次

1. チェックリストの項目を実施することにより期待される効果～取組を実施する前後の姿～ p2
2. 教職員の働き方の改善に対する効果実感が特に高かった項目（学校） p3
3. 取り組んでいる学校の割合は比較的低いものの教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かった項目 p4
4. 全国の学校における働き方改革事例集（令和5年3月改訂版） p10
5. 特設ウェブサイト「StuDX Style」について p11
6. 「GIGA StuDX推進チーム」が研修のお手伝いをします！ p13
7. チェックリストを活用した効果的な取組に関するオンライン研修動画 p14
8. 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン【概要】 p15
9. GIGAスクール構想支援体制整備事業 p16
10. 校務DXの取組に関するダッシュボード p17
11. デジタル改革共創プラットフォーム GIGAスクール構想チャンネル p18

校務DXを促進するための取組に関する参考資料（別冊）

校務DXチェックリストの項目に関連する
令和5年度のリーディングDXスクールの実践

令和6年12月26日

文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム



文部科学省

※各関連動画にはリンク（黄色でマーキング）から遷移できるようになっています

QRコードをクリック！

本資料は、以下の校務DXチェックリストの項目について、
当該項目に関連する令和5年度のリーディングDXスクールの実践をまとめたものです。

教職員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	質問項目	ページ
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	p2
3	学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	p3
5	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	p4
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	p4

教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

No.	質問項目	ページ
9	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。	p5
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	p6
11	児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	p7
14	クラウドサービスを活用し、授業中の小テスト等にCBTを取り入れていますか。	p8

学校内の連絡のデジタル化

No.	質問項目	ページ
15	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	p9
16	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	p9
18	教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	p10 - 11
21	授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	p12
23	授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。	p13
24	教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	p14
25	教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	p15
27	長期休暇期間（夏休み等）の教職員の勤務調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。	p16

1. 標準的なGIGAスクール環境・汎用クラウドツールの一層の活用

チェックリストの大多数の項目は、**標準的なGIGAスクール環境（児童生徒1人1台端末、教師1人1台端末、クラウド環境）**の徹底的な活用により実行可能。取組が進んでいない学校の課題把握及び伴走支援の徹底、教育委員会自身の取組の見直しを。

2. 学校が校務DXに取り組むための環境面・ルールの整備

教師1人1台端末及びクラウド環境は校務DXに取り組むために必要な基盤。十分に整っていない場合には、**早急に整備**を。特に、**最低限必要な基盤として、学校における適切なネットワーク環境の整備は不可欠**。

また、**教育現場の実態に即して適切にルールを整備**するとともに、**端末や機能の利用を硬直的に制限している場合には、必要性について改めて見直し**を。

3. 次世代校務DX環境の整備、教育情報セキュリティポリシーの策定

令和6年度補正予算等で計上している事業も活用しながら、**次世代校務DX環境の整備又は整備に向けた検討の加速**を。

また、令和6年度補正予算等で計上している事業も活用しながら、学校・教育委員会の実態を踏まえ、速やかに**教育情報セキュリティポリシーの策定**を。

事業説明

「次世代の校務デジタル化推進実証事業」 ～次世代の校務のデジタル化モデル実証研究～ の目指す方向性

- 令和5年3月、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」での議論が提言として取りまとめられ、アクセス制御に基づくセキュリティを前提としたネットワーク統合、パブリッククラウド環境で運用する校務支援システム、データ連携基盤（ダッシュボード）の創出等を通じて、教職員の働き方改革やデータ連携（学校経営・学習指導等の高度化）、レジリエンス向上を実現する次世代校務DXの姿が示された。
- この専門家会議の提言を踏まえ、働き方改革、データ連携、レジリエンスの観点から**次世代校務DXの環境の整備やその運用等**の実証研究を行い、**その成果を展開し、全国的な次世代校務DXの推進につなげる**。

本事業における次世代校務DXの全体像

GIGAスクール時代の教育DXや働き方改革の流れを踏まえ、「令和の日本型学校教育」を支える次世代校務DXの実現・全国的な普及が求められている

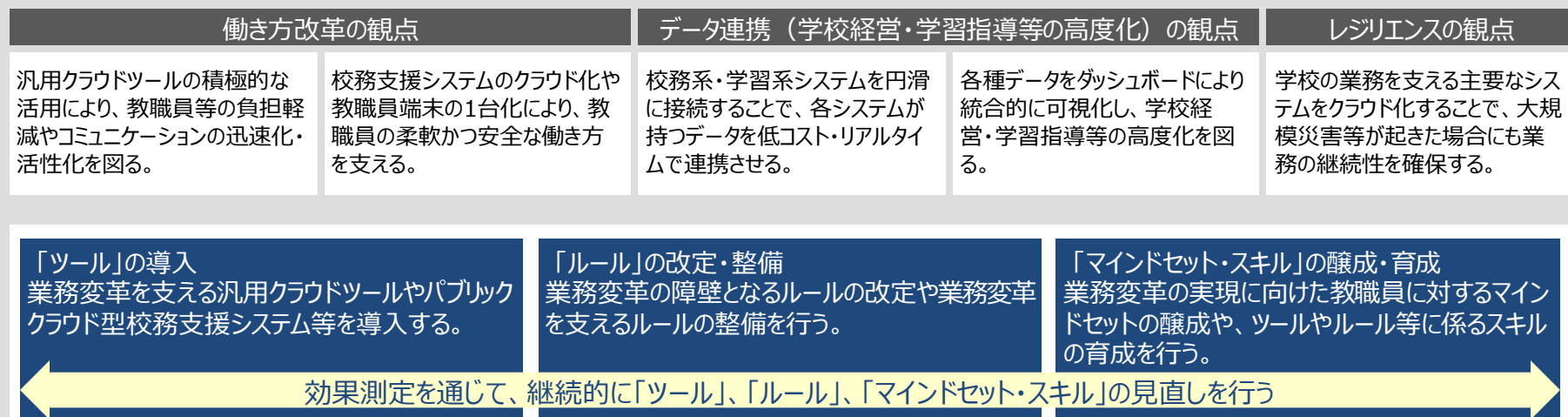


児童生徒 ICTは「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に必要不可欠なもの



教職員 ICTは長時間勤務を解消して、学校の働き方改革を実現する上でも極めて大きな役割を果たしているもの

次世代校務DX（令和の日本型学校教育を支える存在）



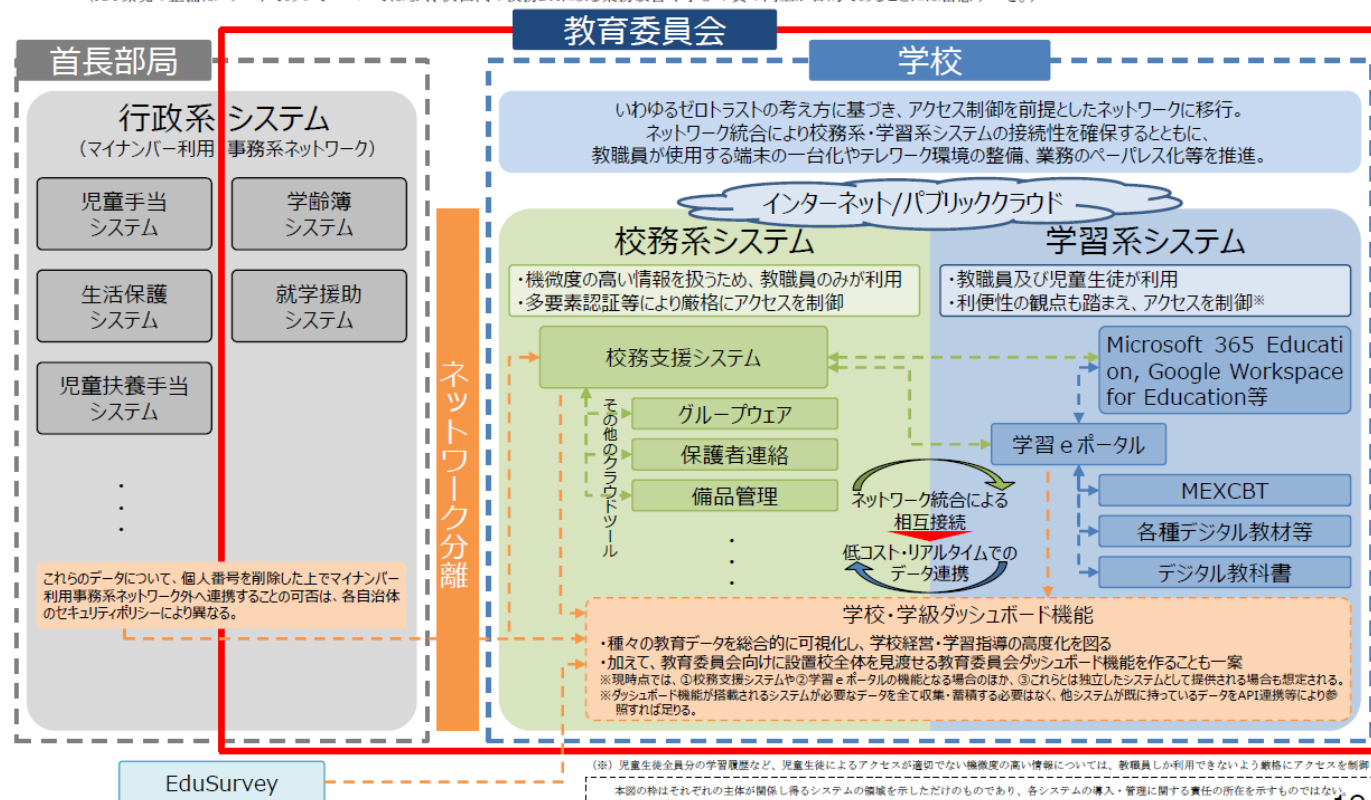
ICT環境整備に関する実証条件

- 専門家会議の提言において、次世代校務DXを支えるICT環境イメージが以下のとおり示されている。
- これを踏まえ、本事業においては、以下のア～オを備えるよう、**県域共同調達**を基本として次世代校務DX環境を整備した。

(6) 次世代の校務DXを支えるICT環境イメージ

- (2)～(5)を踏まえ、次世代の校務DXを支えるICT環境を図示すると以下ようになる。

(ICT環境の整備はスタートであってゴールではなく、次世代の校務DXによる業務改善や学びの質の向上が目的であることに留意すべき。)



次世代校務DXを支えるICT環境に係る5つの要素

ア. ネットワーク統合

学習系システムと校務系システムをインターネット経由で利用できるようなネットワーク環境。

イ. 校務支援システムと周辺システムのクラウド化

校務支援システムや周辺システム(校務用ファイルサーバ・NAS等の校務処理に必要なシステム)がクラウド化された環境。

ウ. 教職員用端末の1台化、

ロケーションフリーによる校務処理

教職員が1台の端末で校務支援システムや周辺システムを利用できるような環境で、学校の内外を問わず業務を実施できる環境。

エ. 強固なアクセス制御を前提としたセキュリティ対策

文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」にて示される「強固なアクセス制御による対策」を講じたシステム環境。

オ. ダッシュボード整備・データ連携

校務系データや学習系データの連携等を見据えた、学校の様々なデータを統合・可視化するダッシュボード環境。

(出典) GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」(令和5年3月)

事業の実施体制

- 本事業では、秋田県（事業Ⅰ：運用フェーズ）及び新潟県（事業Ⅲ：環境構築フェーズ）を実証地域として、株式会社NTT ExCパートナーが実証地域の伴走支援等を行いながら（事業Ⅱ）、次世代校務DX環境の整備やその運用等に取り組んだ。

事業Ⅰ（秋田県）

運用フェーズ

実施事項

- 令和5年度までに構築された、及び令和6年度に構築する次世代校務DX環境の運用、展開・拡張
 - 次世代校務DXを実現する際の課題や都道府県・市町村それぞれが取り組むべき内容の整理
 - 上記を踏まえた、ロードマップの見直し
- 等

事業Ⅱ （(株)NTT ExCパートナー）

実証支援

実施事項

- 実証研究等の実施に関する伴走支援
 - 先進自治体における取組調査
- 等

事業Ⅲ（新潟県）

環境構築フェーズ

実施事項

- ア～オの次世代校務DX環境の構築
- ア. ネットワーク統合
- イ. 校務支援システムと周辺システムのクラウド化
- ウ. 教員用端末の1台化、ロケーションフリーによる校務処理
- エ. 強固なアクセス制御を前提としたセキュリティ対策
- オ. ダッシュボード整備・データ連携